人間支援ロボットに関する研究会

（ふれあいラボと日本ロボット学会研究専門委員会共同主催）

【開催概要】

日　時：平成２９年３月１７日（金）　１４：３０～１７：００

場　所：九州大学ヘルスケアシステムLABO糸島

〒819-1312　糸島市志摩初1番地

糸島市健康福祉センターふれあい１階　検診・研修室

TEL　０９２－３２７－８１８１

参加費：無料　（参加希望の方は事前にお電話でお申し込みください。）

【プログラム】

１）１４：３０－１５：２０　横浜国立大学　島 圭介 准教授　講演

タイトル：「ヒトの体性感覚刺激に基づく人間支援インタフェース」
講演概要：
ヒトに様々な体性感覚刺激を与えることで、高齢者が抱える転倒リスクの把握や歩行支援、運動機能回復訓練のための情報提示など、種々の人間支援インタフェースが実現できる。講演では、近年転倒災害予防のために開発した転倒予防法を主軸に、我々が提案する人間支援インタフェースの基本概念と実フィールドでの応用可能性について議論する。

２）１５：２５－１６：１５　鹿児島大学　余 永 教授　講演

タイトル：「多種促通機能付き片麻痺上肢・下肢の運動機能回復訓練装置の開発」
講演概要：
片麻痺有病者の麻痺肢の共同運動に対し、各関節の自主運動を有効に分離できる促通反復療法がある。長時間訓練の省力化かつ訓練精度と効果の向上のために、本講演では促通反復療法に基づき、目標筋の急伸長促通刺激と促通補助的な振動刺激・電気刺激・視覚と聴覚による運動タイミング刺激を加えて、麻痺肢の目標筋伸張反射を誘発して自主的な目標筋随意運動を引き出し、さらに自主運動をパワーアシストして微小な運動も効果的に遂行できる、片麻痺指伸展・前腕回内回外・肩上下・膝屈曲の各機能回復訓練装置を詳説する。
また、随意複合運動リハビリのための片麻痺上肢肩・肘・前腕複合運動や下肢歩行運動の各機能回復装置などの紹介も行う。

３）研究発表

３－１）１６：２０－１６：４０

トレッドミルを用いた滑り転倒刺激実験による転倒回避動作の解析
九州大学工学研究院　中島康貴、植木真太郎

３－２）１６：４０－１７：００

振動刺激による認知アシストの可能性について（振動刺激用いた肘関節動作変更特性）
九州大学工学府　本田功輝

【アクセス】

■公共交通機関でお越しの場合

＜天神・博多方面より＞

昭和バス　いと・しま号で約１時間

「初」または「交流プラザ志摩館北口」下車

※福岡方面からのお越しは、乗り換えのない高速バスが便利です。

＜ＪＲ筑肥線　筑前前原駅より＞

糸島市コミュニティバス　初深江線

「交流プラザ志摩館前」　下車

船越線、野北線（前原駅北口前バス停）

「初」または「交流プラザ志摩館北口」下車

■車でお越しの場合

＜福岡方面より＞

福岡都市高速環状線福岡JCT→福岡前原道路 前原ICで降りる。

前原IC→県道12号線と県道506号線を進み糸島市交流プラザ志摩館（旧糸島市役所志摩庁舎）方面へ約10分。

＜唐津方面より＞

国道202号線西町交差点を左折、糸島市交流プラザ志摩館（旧糸島市役所志摩庁舎）方面へ約10分。